



コロナ禍の折、このように勇気を奮って多数ご来場頂き、大変感謝しております。

ここに来る前、私は2週連続で関東に参りました。そこで、このように国際情勢のメッセージをして来たのですが、1回目の時に、高校で世界史を教えている教師の方がいらっしゃったんです。

その方は離婚されていて、別れた奥様がどうもクリスチャンらしい。何年も会ってないのに、ある日突然メールが来て、「あなた、世界史の授業 今でも苦労していると思うから、このYouTube 見たら？」と私のYouTube を紹介してくれたようなんですが、「仕事のことで、お前の指図をなんで受けなあかんねん」と。死んでも見いひん！みたいな感じで見なかった。

だけど それから2-3日して、職場の同僚が「最近、おもしろいYouTube にハマってんねん。大阪弁のオッサンが国際情勢しゃべっとんねん。これ、授業に役立つからどうや？」

聞いてみたら高原剛一郎や。またかと。「別れた妻の言うことは聞きたくないけど、同僚の言うことだから、これはちょっと聞いてみようか。と思って聞いたのが運の尽きや」言うて。

それから200本ほどワーッと見ていただきまして、「今は教会に通って神を信じ、クリスチャンになった」と言っていました。

オンラインというか、リモートでこういうメッセージを聞くのもいいし、YouTube で聞くのもいいんですけど、やっぱり実際に行ってみると、思いがけない出会いがありますね。

皆さん、今日はわざわざお運び頂いたわけで、きっと何か良いことあると思います。

今日は「バイデン政権のアメリカと国際情勢」ということで、ご一緒に考えたいと思います。

バイデンが大統領になって、約2か月経ちました。

皆さんは、彼の大統領就任演説をご覧になりましたか？ 私はリアルタイムでYouTube 放送されているのを見ました。21分。長い話や。他人（ひと）のこと言えないんだけど。

21分話したんですが、その中で、国際情勢について語ったのは1分だけです。20分は国内問題。

その1分の中に、中国のことはひと言も出て来ませんでした。

バトンタッチする時のトランプ大統領、外交政策で一番きな臭い匂いがしてたのは米中対立でしょ。それを受け継いだバイデンは、中国のことをひと言も言わない。

20分の国内問題について何を仰ったかというのと、繰り返し繰り返し言ってたのは「今のアメリカは分断してる。」1月6日にトランプの支持者が国会突入したということから始まって、あの選挙には色々不可解なことがたくさんあるということで、「今のアメリカは分断してる。しかし、アメリカは世界のリーダーなんだから結束しなければならない。団結しなければならない。我々は今 一致して立ち上がって行こうではないか！」と、団結・結束を繰り返し繰り返し くだいくらいに仰って、ホワイトハウスに入った。それが1月20日です。

そして1月21日～31日までの10日間に、大統領令を42本連発してる。アメリカ歴代で1番多い。

そんな大統領令を出した大統領。それがバイデン大統領。

その 42 本の中身をひとと言で言うと、トランプの政策の打ち消しなんです。つまり、トランプ大統領が 4 年かかって積み上げて来たシステムを、10 日でひっくり返したんです。

ひっくり返したということは逆戻りさせたということですが、それは元に戻るということで、結局バイデン政権とは第 3 次オバマ政権なんです。そうやって見ると、色んなことが見えて来ますよ。

彼は「団結だ！ 結束だ！ 一致が大事だ！」と言ったけど、10 日間でひっくり返したのをトランプの支持者が見た時 結束できますか？ トランプ大統領は現職大統領として 7400 万票集めたんですよ。

これは歴代大統領の中で 1 番多い。オバマ大統領でも 6000 万票でしょ。

7400 万のトランプ支持者を敵に回したのと同じですよ。

このバイデンさん、どのようにアメリカを動かして行こうとするのか。

なぜバイデンさんが選ばれたのか？ アメリカは 2 大政党制です。共和党と民主党。

共和党はどちらかという右寄りの政党。民主党は左寄りの政党です。

しかし、民主党の 1 番右側の議員は、共和党の 1 番左寄りの議員よりも はるかに右なんです。

なので、“民主党だから全部左派だ。共和党だから全部右派だ” と言うことはできない。

かぶっている部分があるんです。

が、実はバイデン以外の民主党大統領立候補者は、押しなべて極左だったんですね。

極端に左の、ハッキリ言って、アメリカ人なんだけど、共産主義者のような考えをもっている立候補者が乱立したんです。これでは、現職のトランプ大統領に勝てないじゃないですか。

とにかく、勝たないことには彼らの政策も反映できないということで、勝てる代表を選ぶ。

それで、副大統領を 8 年やったバイデンさん。大統領就任した時 78 歳ですよ。

史上最高齢で大統領の職に就く人です。彼は“自分は民主党左派の意見をも取り上げて、やって行かなければならない” という使命を、初めから背負わされている人です。

そこでまず、彼の内政問題から見ておきたいと思います。というのは、やっぱりアメリカが強くないと困るんですよ、西側は。内政と外交という問題、外交は後で言います。

内政問題について、バイデンさんはスーザン・ライスという黒人女性の政治家/ブレインをあるポストに就けました。“国内政策会議の委員長” というポストで、これは、アメリカの全ての国内問題に口出しできるんです。アメリカの全ての問題に対して、行政組織は誰も、国内政策会議の決定事項に反するような政策が採れません。

アメリカは大統領府の下に 15 の省があります。商務省・農務省・国防総省、15 の省がズラッとある。この 15 の行政組織が何かやろうとする時、スーザン・ライスのお墨付きを貰わないと何もできない。アメリカ国内の全ての問題に、強力な権限で口出しできるというポストが国内政策会議です。

スーザン・ライスはオバマ政権における安全保障担当の大統領補佐官でした。超エリートですよ。

ローズ奨学会金貰ってね。超エリートでアフリカ問題専門家、博士号を持っている方。

彼女は思い切り親中・反日です。今日はその話をすることはできないけど。

彼女は国内政策会議で「バイデン政権はこれで行く！」人種平等構想という政策をぶち上げました。

「これからバイデン政権の 4 年間は人種平等構想でやる。これに反するような政策は一切受け付けません」と言ったんですね。

この人種平等の“平等”はどういう意味か？ 平等という言葉は英語で 2 種類あるそうです。EQUITY（エクイティ）と EQUALITY（イクオリティ）。

アメリカ 13 州がイギリスから独立した時、5 人の起草者によって独立宣言をやりましたね。「全ての人は創造主によって平等に造られ、何者によっても奪われない権利を追求することができる。その権利には生命・自由・幸福を追及する権利が含まれている。全ての人間は、この幸福の権利を追及するという点において平等である。」 EQUALITY（イクオリティ）はこの平等。

この言葉を日本に最初に紹介したのは福沢諭吉ですね。『学問のすゝめ』。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずといへり（言えり）」“言えり”は「～と書いてある。」神を表す“天”は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。これは福沢諭吉のオリジナルの言葉ではなく、アメリカ独立宣言の言葉に感動して引用したということです。

ここで言っている平等/イクオリティは、簡単に言うと“機会の平等”です。白人であろうがアジア系であろうが黒人であろうが、チャンスは皆 平等に与えられなければならない、という考えですよ。

それに対して、EQUITY（エクイティ）は“結果平等”という意味。これは、早速この間決まったことがあります。東部の名門中の名門にイエール大学がありますよね。この大学に入学するには、試験で良い成績を取ってもダメなんです。実は 人種割当制というシステムを取っていて、定員の中で白人は * %・黒人は * %・アジア系は * %・ヒスパニック系は * %のように、それぞれの人種によって、入れる枠が決まってるんですね。

大体アメリカの大学では、アジア系の学生がめちゃくちゃ成績良いらしい。もう がり勉やるから。日本の受験勉強を色々言う人いますけど、アメリカ行ったらダントツに強い。中国人・韓国人・日本人の学生はすごくいい。だから、実力だけでイエール大学の入学を許していくと、大半がアジア大学になります。大部分がアジア系の学生で占められる。「そんなんだメや。結果を平等にしないと駄目。」

“結果を平等にする”とはどういうことか？ 成績が低くても、黒人の学生は * %まで入れるようにしているということで、その枠内に入るなら合格する。ということは、成績が良くても、アジア人だという理由で不合格になるアジア系の学生がいるのです。

これについて、トランプ大統領は「逆差別」と言いました。「おかしいじゃないか。真に学びたいと一生懸命努力した者が皮膚の色で入学できないのは、これもまた差別になっているのではないか。」それで、人種割当制は違憲/憲法違反ではないかということで、トランプ政権の時、最高裁に訴えています。

その判決が出る前に、トランプさんは負けました。そしてバイデン大統領が当選しましたね。今どうなってますか？ 司法省はバイデンの命令で、この訴訟を取り下げたんです。なので、人種割当制がこのまま続きます。

そんなことされたら、「一生懸命勉強して1点差で落ちた。だけど、自分より30点くらい低い人でも、皮膚の色が自分と違うので入ることができた」と聞いたら、一生懸命受験勉強やった学生ほど腹を立てるんじゃないですか？ 腹を立てないのよ。「しゃあないがな…。」

なぜ「しゃあないがな」になるのか？ そんな教育をしてるんですね。

その教育を“WHITE GUILT/ホワイト・ギルト”と言います。

ホワイトは白人。ギルト/ギルティは有罪。

小学校の幼い時から、特に民主党が強い所では、白人の子供たちに「あなたたちは良い生活をしている。良い教育環境にある。お父さんもお母さんも良い仕事に就いている。それはなぜ？ あなたたち白人の先祖が黒人の奴隷を死ぬまでこき使って、彼らの血の犠牲の上に繁栄し、成功をもち取ったのです。そのようにして受け継いで来たものを、あなたたちはタダで受けているだけなんだから、今日の前にいる不利な状況の黒人の子供たちに、権利を与えて優遇するのは当たり前のことでしょう。」

自分が白人であることに後ろめたさを感じたり、白人で生まれて来たことを罪深く感じる教育、つまり自虐教育です。自虐教育って日本だけじゃなかったんですよ。

アメリカでも自虐教育があって、「自分は白人。アメリカは罪深い。ネイティブ・アメリカン（インディアン）の人たちが土地を持っていたのに、我々が武力で追い払った。罪深い国民だ」と自らを恥じ、先祖たちを恥じ入るような教育。

幼い時からこれを叩きこまれて成長していくと、このような不正に対して贖罪意識を持ち、“これをお返しすることこそが、人間として1番の美德だ”と考えるようになりますよね。

そんな思いを持つようになって大学に入ります。

そして、東部エリートのハーバード・イエール・コロンビア・プリンストン、そういう大学に入ったら、その大学の中で、日本でも一緒ですけど、大学教授の中に、筋金入りの左翼の教授が待ち構えています。そして、彼らを左翼の闘士として世に送り出していく。ということですね。

これをグッと押し進めたのがオバマ政権、オバマさんです。

オバマ大統領に近くて、その薫陶を受けて大成したのがスーザン・ライスなんですね。

だから、これは皮膚の色だけじゃないんですよ。とにかく少数の者を、その権利をもっと認めるべきだ！ということですね。

それでオバマ大統領の時代、ポリティカル・コレクトネス、例えば、クリスマスのシーズンに「メリー・クリスマス！」と言ったらダメなんです。なぜダメなのか？

アメリカにはクリスチャンじゃない人もいます。“メリー”は“楽しい”という意味です。

メリー・クリスマスは“クリスマス、楽しみましょう！”という意味ですが、クリスチャンでない人が「クリスマス、楽しみましょう！イエスが世に来たことを楽しみましょう！」と言われたら不快感を感じる。だから、家の中や教会の中では言うてもいいんだけど、一般の、例えば職場で「メリー・クリスマス！」アウト！「女の人と話長い」アウト！最近あったやん。あれポリコレ。

じゃあ、何と言うんですか？「ハッピー・ホリデー。」

この間 下院議長が「これからは性別を表すような言葉は使ったらアカン！」
オバマの時 このように言われたんですね。祈る時に「天の父なる神」と祈ったらアカンと。
神に性別はないのに、父は性別や。男の方の親や。差別や！ だから「父なる神」と祈ったらアカン！
「祈る時には『父なる神』と祈りなさい」と言ったのは誰ですか？ イエス・キリスト。
つまり、イエス・キリストは差別主義者だと言ってるんです。

で、下院で新しく決まったのは、Man とか Woman と言ったら駄目なんです。性別分かるから。
もう、ただ単に Human (ヒューマン)。Human もアカンかも分からへんで。

下院議会が始まる時、「今日、この議会が祝福されますように」と祈って、最後に「アーメン/AMEN」
と言うのを「amen、awoman」と言ってる。「アーメン、アウーマン」て、どういう意味や？
アーメン。メンやから、それだけやとアカン。だからウーマンも付けて。
あのね、アーメンは男とか女とか、何の関係もない。
“アーメン” はヘブライ語で “そのとおりに” という意味なんですよ。もうね、おかしいな、これ。

国内政策会議委員長 人種平等構想ということで、スーザン・ライスさんが推し進めていく。
推し進めていくと、“努力した者もしなかった者も、結果が平等になるようにする” ということは、
努力する動機付けが無くなっていくんです。
一生懸命やった人も 投げやりな態度でやった人も、ゴールとして貰えるものが一緒なら、どちらを
取りますか？ 人間は易きに流れてしまうんじゃないですか？ つまり共産主義なんです。

そして、“これが社会の当然あるべき姿だ” ということになってしまうと、アメリカの国力や活力は
無くなります。努力が報われたり、創意工夫が認められたり、色々達成感があって、それが嬉しい。
どう転ぼうが、一生懸命やろうが脱力しようが、結果一緒だったら、一生懸命やろうという動機付け
無くなるじゃないですか。それで共産主義が駄目になって行ったのを、あの 20 世紀末、全世界の人々
が見てるのに、それをやるんですね。

トランプ大統領がなぜ当選したかということ、こういうことに対して息苦しさを感ずき、逆差別だとい
うを感じていたアメリカの保守層が、ハッキリもの言うトランプ大統領が出て来た時、「お前、頼む
ぞ！」ということで、トランプ大統領がなったんですね。

それに対する反動が来たわけで、あと 4 年でまた反動来る。(*大きな振り子のように) こんなんや。
僕は、アメリカはいつまでも輝いていて欲しいね。しかし、これがアメリカのスタンダードな考え方
になって来ると、かつてのキラキラしているアメリカが失われて行く可能性があると思います。

2 番目です。外交はどうなのか。

国務長官に選ばれたのはアンソニー・ブリンケン。昨日いらっしやいましたね。男前の。東部エリー
トの白人。実は 彼はオバマ外交のブレインだったんですよ。

スーザン・ライスは元々外交畑にいてたから、外交に行くかなと思われたんですが、それだと上院の
支持取れないだろうということで国内に回って。
代わりに、オバマ時代の外交ブレインのアンソニー・ブリンケン。大統領が「この人に国務長官 (日
本では外務大臣) になってもらおう。しかし、上院の公聴会で色々突っ込まれるんですね。

鋭い質問をいっぱい言われて、ちゃんと答えられるか。ボロが出ないか。

“予算の下院・外交の上院”と言うのですが、上院は今 議員数が民主党 50・共和党 50 なんです。そして、民主党上院議員も共和党上院議員も、今の中国のやり方を非常に問題視しています。これはいかんぞ！と思っているんですね。

実は バイデン大統領は、去年の大統領選直前の 10 月に ものすごいスキャンダルが出たんですよ。次男のハンター・バイデンがエアフォース・ツーという副大統領専用機に乗って、お父さんと一緒に中国に行ったんです。北京で彼は下りて、ビジネスいっぱいやって、会談全部終わって、2 人はまた専用機に乗ってアメリカに戻った。

戻って 2 週間もしないうちに、彼が作った会社に、中国から 15 億ドルのお金がバン振り込まれたんですよ。15 億円じゃないですよ。15 億円だって見たことないでしょ。15 億ドル。1650 億円。

中国銀行とハンター・バイデンが、中国資本と彼のお金で、ポーハイ・ハーベストという合併投資会社を作ったんです。この投資会社が作られた目的は、アメリカの軍事企業の買収や軍事企業に投資することで、平たく言うと、アメリカの最先端の軍事情報や技術を中国に流すための会社。それを副大統領の息子がやってた。そして、毎年 30 億円がバイデンに入るようになってたんです。

それがブワッと出て来た。11 月の第 1 火曜日に選挙があるのに、10 月にそのスキャンダルがブワツ出たら、これはバイデン勝ち目ないですよ。「中国に骨絡み やられとるやないか、コイツ！」となる。

ところが、これを報道したのがタブロイド紙だったんです。タブロイド紙って『夕刊フジ』みたいなやつ。大きな字で赤とか黄とか、ド派手なスポーツ新聞みたい。夕刊だけ発売されるのあるじゃないですか。『大スポ』。電車の中で、広げて見られへんようなスポーツ新聞。なんで そんなところに？ 他のクオリティペーパーと言われるところは皆、大スキャンダルだったのに「要らない、要らない」で取り上げてくれなかったの、そこまで行ってしまったのです。

だけど、報道されている内容が凄くて、こういう事が明らかになったというので、討論会の時にトランプさんが、「お前、中国からカネ貰ってるだろう！ 息子のビジネスで、お前もカネ貰ってるだろう！」バイデンは「息子のビジネスと俺は関係ない！」と言ったけど、その後で、ハンター・バイデンの元パートナーのトニー・ボプリンスキーが全部喋ってしまった。

「嘘やで、あれ。私、傍におったもん。大統領候補のバイデンもカネ貰っとるで。」どこにでも、内部告発する人っているんですね。

ところが、どれだけ凄い特ダネであったとしても、全テレビ局が報道せず。全ての新聞が報道せず。SNS（フェイスブックやツイッター）に「こんなことが言われてるんだ」とアップすると、それが全部削除される。一般の人々の目に見えない。投票が終わるまで完全封印。そんな状態であったということ、実は アメリカの政治家はみんな知っているわけです。

これから捜査が進んで行くと思いますが、そうであるとするならば、中国はバイデンの弱みを握っているということになりますよね。表に現れている情報だけでも十分ヤバイけど、それ以外にも、バイデンを脅迫できる材料を中国側が握っていたら、外交交渉の時に、それをカードとして使うんじゃないですか？ それ やばすぎる。

なので、バイデンが選んだアンソニー・ブリンケンは、上院公聴会で「中国に対して、毅然とした態

度を本当に取ることができるのか?!」と追及されまくったんです。

その時彼は、自分のファミリー・ヒストリー、自分の家族はどんな一族だったのかを語り出したのですが、これは感動しますよ。YouTube でやっています。

彼の奥さんは、日本で言うと文科省のナンバー3の文化教育担当次官補。長官一次官一次官補で3番目。まだ若いのに。おじさんはベルギー大使。お父さんはハンガリー大使。お母さんはハンガリーからの亡命者。おじいさんはロシアからの亡命者。ブリンケンの両親は若い時に離婚しました。

お母さんが再婚した相手はユダヤ人で、ピサールという弁護士です。

ピサールが通っていた学校は生徒が900人いたのですが、生き残ったのは彼だけ。あとは全滅。

彼の両親・兄弟含めて、一族の中で生き残ったのは彼だけです。

ピサールはポーランド生まれで、ダッハウ収容所に入れられた後、アウシュビッツ収容所に入れられたのでした。

私は2年前、アウシュビッツに行きました。アウシュビッツはポーランド全体の真ん中であって、ポーランド中の鉄道の線路が、一旦そこに集合するんです。つまり、ポーランドのどこからでも等距離にある場所で、囚人を乗せたらそこに送り込むことができる。

元々はポーランド軍の兵舎と厩舎で、たくさん馬小屋があったのを収容所に改造しました。

周りは何も無い。森なんですね。寒ーい所です。12月に行きましたが雪が降っていてね…。

ピサールは不可能と思えるアウシュビッツからの脱出に成功したんです。

そして、食うや食わずの潜伏・身を潜めながら、なんとかナチスから逃れたいと森の中に行くのですが、ある時、戦車の音がガガガと。もしナチスの戦車なら自分はもうおしまいだと思って、木陰に隠れて見ていたら、その戦車に星条旗！ アメリカの戦車だ！ コックピットから上半身出している黒人のアメリカ兵が見えた。

彼はまだ少年で英語が喋れない。だけどバーツと走って行って、お母さんから教えられた3つの英単語だけを組み合わせ、大声で「God bless America！/神がアメリカを祝福してくださいますように！」 それしか英語知らない。大声で何回もそれを言った。

そしたら、戦車から見下ろしていたその黒人の兵士が黙って頷いて、彼をグッと引き上げて、戦車の中に入れて保護して。彼はアメリカの戦車でそこから逃げたんです。

ブリンケンはその話をした後で、こう言いました。

「皆さん、これが私たちの家族の物語です。私たち一族の物語は“たとえ不完全ではあっても最善を尽くす”というアメリカ外交を表しているように思います。私の一族には亡命者がたくさんいます。私の継父はユダヤ人で、独裁権力によって一族皆殺しにされた人です。なぜ私が独裁体制に対して甘い態度を取ることができるでしょう。私は闘います。」

その演説を見てると「ああ、本気やろな…」 私 お人好し？「本気やろな」という感じがしました。

独裁駄目！という考えは本気だと。本心から独裁体制を憎んでいるのは間違いないと思います。

だから、危ないんですよ。

トランプからバイデンになったからといって、米中関係は良くなりません。

バイデンは自らが外交の先頭に立つつもりはないようです。

国内のコロナ問題を鎮静化させること・経済を回復させること・人種問題のひび割れた関係を修復させることに手一杯になるので、彼が外交問題の先頭に立つことはない。

それに、もしバイデンが対中政策で弱腰を見せたら疑われるでしょう。

「なんで中国にこんなに甘い？ 中国に弱みを握られてるから、やっぱり弱腰なんだ」と言われるので、弱く出ることはできないという事情を抱えていると思います。

だから、トランプからバイデンになったとしても、中国に対する態度は継続されます。

トランプ大統領は置土産でハードルをめちゃくちゃ上げて去って行った。

だから、中国との対決はこれから始まります。しかし、中国はこれが分かっているのだから、普通の戦い方をするわけがない。これがバイデン政権です。

次に、中国の戦略について、というよりも、“中国はなぜこんなに強大化してしまったのか？”について考えたいと思います。

私たちは中国の脅威を考えると、つい目に見える部分ばかりに注意が行って、「あそこもやってる。ここもやってる」となります。しかし本当に怖いのは、目に見えない部分における中国の侵食です。『見えない手』という本がありますので、ぜひ一読をお勧めします。

ちょっと話変わるんですが、先月、森さんがオリンピック組織委員会の委員長を辞任されたじゃないですか。いらんこと言うた。あの人ね、いらんこといっぱい言うんです。ホンマに。

昔も「神の国宣言」言うてボコボコにされましたよ。とにかくいらんこと言う。「女の人は話が長い。」

だけど、その発言録、全部お読みになりました？「でも、わしの方がよっぽど長い。あはは」と笑っているじゃないですか。そして「この組織委員会の女性メンバーたちは非常に有意義なことを発言してくれて、私は嬉しく思っています。」ちゃんとバランス取って持ち上げてるんですけど、切り取り。

「女の人は話が長いって言うた！けしからん！」と誰が言ったのか？ 国内だけじゃなくて、ヨーロッパ中の色々な所が。何がけしからんのかというと、五輪憲章の精神に反すると。

僕もね、これは失言やと思います。不適切な発言だと思いますよ。

だけどね、庇うわけじゃないけど、ちょっと庇わしてくださいよ。

森さんは2015年に肺癌の手術してますよね。肺が1個しかない。再発したらもうおしまいと言われてたのに、オプジーボという癌の特効薬が適合して奇跡的に助かっている。ですが、片肺1個です。そして、週に3回人工透析しながら、スポーツ行政にめちゃくちゃ顔が利くので、ラグビー世界大会を日本に呼んだのは森さんなんです。

週3回透析しながら、80のおじいさんが一生懸命国のためにやってたのですが、女の人の話長いということで「五輪憲章に反している」と言われた時に謝ったでしょ。そして「あの発言を撤回します」と言ってるんです。でも、あかんの？

「俺は撤回せえへんぞ！現に長いやろ！」言うたら、それはもう葬り去られると思うけど、「あれは私が言い間違いました。私の発言は間違っていました」って謝ったやん。謝ってもあかんの？

「いや、謝ってもあかん。それほど五輪憲章の精神というのは神聖なるものであるから、言い間違い

一つでもあったらあかん。辞めてもらわなあかんのや」ということらしい。

とするならば、2022年2月に北京で冬季オリンピックありますよね。

今 中国共産党が中国の少数民族にやっていることは、女の人は話長いと発言したとか、そんなレベルの話じゃないでしょ。100万人単位で強制収容所に放り込んでいるんでしょ。

チベットの共産党のトップ 陳全国（チン ゼンコク）は2015年までどこにおったかという、チベットにおったんです。チベットで大虐殺やったんです。

彼は習近平の部下で、その残忍な弾圧の仕方が認められて、習近平から「次ウイグルに行け。」

2016年にウイグルに赴任しました。ウイグルで彼がやったことは、自治区中に強制収容所の大量建設。完成して2017年に、100万人とも200万人とも、一説によると300万人とも言われるウイグルの人たちを収容した。

2018年の中国人口動態という資料が出されました。ウイグルの2015年の出生率は1.6%。

ところが2018年は0.26%。3年間に86%も出生率が下がった。ウイグル人が突然 子供を産めない身体になってる。この間に何があったのか？ 収容された2017年に何があったのか？

男性は再教育システムということで、そこで洗脳されています。

そして、多くの人々が臓器移植提供者として（提供者って、自分の意思じゃない）、プールされると言われている。

女性はそこに行く注射を打たれます。それで生理が止まります。一時的に止まるのではなく、二度と来ない。すなわち、妊娠できないような注射や強制避妊手術・不妊手術がなされている。

両親が収容所に入れられたら、残った子供はどうなりますか？ 共産党が預かって集団生活している。

残りのウイグルの人たちは漢民族の公安に監視されていますが、その監視って、後ろをずっとつけ回されて尾行される、そんなんじゃないですよ。

一緒に住むんです。家の中まで監視員が入って来て、夜も同じ屋根の下で寝るんですよ。

そして、彼らの食事はウイグル人が作って出すんです。24時間。

これは、民族を完全に抹殺しようとしてますね。直接この命令を出しているのが習近平です。

2016年からこういう事が行われていると、一部ではずっと報道されていたけど、だからといって世界が動いてくれますか？ 「遺憾に思う。」

遺憾砲って言うんですって。「遺憾に思う。」「遺憾に思う。」「遺憾に思う。」バンバンバン。遺憾砲。

2008年8月、北京で夏のオリンピックがありましたね。あの時、その前にチベットで大虐殺があったんです。それで世界中の人々に、今 中国共産党が何をしているのかを訴えるために、チベットの僧侶たちが何人も何人も、ガソリン被って火を点けて焼身自殺しました。

人間として1番苦しい死に方をして、「こんなに酷いことが行われているんだ！ 中国がやっている事を見てくれ！」とアピールしたけど、2008年北京オリンピックをボイコットした国ありますか？

「酷いこと行われているなあ。でもなあ…。」

もし日本がウイグル・チベット・内モンゴル・今の香港みたいになったら、よその国は助けてくれませんよ。もし中国共産党の支配下に入ったら、まず言葉を奪われて日本語禁止。中国語を強制される。大人は強制収容所に入れられて、子供たちは洗脳教育機関に入れられて。

そんなこと、許しちゃいけませんよ。

問題は何かというと、森さんのあんな発言で、野党も含めてギョアギョア騒いで。

2022年2月の冬季オリンピックを行う資格は今の中国にはない。

五輪憲章の精神に反するどころか、人間としての生きる道に背いているじゃないですか、これ。

昨日か一昨日か、二階幹事長に新聞記者が「今の中国共産党が少数民族に こんな酷い事をしていることについて、意見を述べるということを日本政府はしないんでしょうか？ 幹事長、いかがでしょうか？」と言った時、(*二階氏のモノマネで)「私としては(ムチャクチャ似てると思わへん?)、私としては、そのようなことを言うつもりはありません」と言ったんですよ。

これ、自民党の幹事長や。彼が二言目に言うのは、「隣の国と仲良くできない国が、世界の国と仲良くできるわけがない。」 よう言うわ。

つまりね、目に見える侵略も恐ろしいけれど、目に見えない侵略が既に始まってるとしょ！ということなんです。

これは自民党だけじゃないですよ。二階さんは元々小沢一郎の秘書をやってました。小沢一郎が民主党で政権取った時、国会議員 130 人くらい引き連れて 600 人の大訪中団で“中国詣で”をして、そして何と言いましたか？「これからの日本は日米中 等間隔・正三角形外交。」

日本とアメリカの距離も、日本と中国との距離も一緒。独裁国家と自由の国アメリカと同じ付き合い。

これから少子化ですね。もう既に全入時代が始まっています。進学先を選ばなければ、大学に全員入れるんです。定員割れで、このままなら経営やって行かれへんという私立大学がたくさんある。

それでどうしているかということ、海外に行って留学生の募集をやっているんです。

日本には 30 万人の留学生がいますが、そのうち 14 万人は中国からの留学生です。

もしその大学で、「中国共産党がやっていることは、人間の風上にも置けないムチャクチャなことだ！」

とでも言えば、「あ、お宅の大学には、もう留学生送りませんから。」 倒産や。

大学だけじゃない。トヨタの前社長の奥田さん、胡錦濤(コ キントウ)と秘密会談を 14 回以上やっていますよね。「政治家、ナニしてるんだ！」と言うかもしれませんが、自民党を支持している経団連自身が中国市場の大きさに目が眩んで、「中国、そんなに怖くないから。危なくないから。」

いや、国家観がないんじゃない？

そうやって、どんどん中国が大きくなって行っているのに、なぜハッキリ「それ、違う！」と言えないのか？ 侵食されているから。

中国がここまで大きく凶暴になった責任の半分は日本人です。声を上げるべき時にちゃんと声を上げると、目先の儲けに目が眩んで、それで、自ら巻かれて行ったんじゃないんですか？

今 中国に入る時、肛門に綿棒突っ込んで、グイッと細胞取って、コロナに罹っているかないかの検査をするんですよ。アメリカの国務省が怒って「バカにするのもいい加減にしろ!!」

強力に言ったから、アメリカに対しては取り下げたんです。怒らなあかんのちゃう？

いや、怒れない事情がありますよね。実は 日本の大企業が中国に持っている工場施設・そこでプールして儲けたお金は、日本に持ち帰ることはできないんです。儲けた元を円に換えて持ち帰ることは

できない。全部置いて行かないと駄目。だから行くしかない。行くしかないってねえ。
それに、肛門に入れられてですよ、もし毒薬塗られてたらどうします？
塗って10日目に発病するような物を塗られたら、もう証拠隠滅もいいとこやん。

なので、中国に対抗できないのは、軍事力云々もあるけど、国の中に操り人形のようにになっている日本人が既にたくさんいるから、ということも言えると思います。

さて、今日本は3つの領土問題を抱えています。3つの国と。
まずロシアとの間に北方四島。韓国との間には竹島問題。中国との間には尖閣問題。
この中で1番深刻なのは尖閣です。なぜか？

北方四島はロシアが実効支配しています。そして、ロシアは実効支配している現状に満足しています。
竹島も韓国が実効支配しているんです。韓国はその状態に満足しているんです。
しかし、尖閣は日本が実効支配しています。中国はその現状に対して満足していない。
だから、取りに行こうとしているんですよ。これ、どうしたらいいですか？

今から15年ほど前、私は尖閣を所轄に持っている石垣市の中山市長と、対談というかインタビューしたことがあるんです。
その時、中国と日本の中に色んなぶつかりの問題があったので、マスコミがズラッと並んでて。
でも、ある方の伝手を頼って待ってたんです。色んな新聞社が来てましたよ。
最初に秘書長から「インタビューは10分でおしまい」と。10分か…。

「大阪へブル研究所の高原と申します。」「大阪？大阪ですか？」「そうなんです。大阪なんですよ。」
「大阪 懐かしいなあ。僕ね、近畿大学卒業して。」「近大ですか。近大出て どうしはったんですか？」
「それから野村證券に勤めてね。」「どこ回ってはったんですか？」というところから、話がのったんですね。それで30分。後ろで皆ブーっとして。「はよ終われ！」みたいな。
悔しかったら、お前らものせてみ。いやいや。

「中山市長、僕は尖閣に上りたいんですけど行けますか？」「いや、無理でしょ。」
「漁船雇ってもいいと思ってますけど。」「尖閣に行くガソリン代、いくら掛かるかご存知ですか？
120万です。」120万出して尖閣やったら、行ってもええかなと思って。
尖閣に上って、エゼキエル38章をバーツと掲げて。目立つで。

「高原さん、船員手帳持ってる？」「船員手帳って何ですか？」
「漁師の人たちや船で仕事をする人たちが皆持っている物。これを持っていない人があそこまで行ったら、海上保安庁に逮捕されるよ。」「逮捕されるんですか。おかしいじゃないですか。」
「おかしいよ。実はまだ沖縄が返還されずにアメリカの占領状態にあった時、石垣の漁師たちは尖閣の所に行って、魚をたくさん釣ってたんです。アメリカに占領されている時には自由に漁に行けたのに、日本のものとして返された後は行けなくなるという。おかしいことですよ。」

「そんなん、黙ってたら駄目じゃないですか。何か方法ないんですか。」「考えてるのは、市長としてあそこに上陸して番地付ける。字（あざ）3番とか。とにかく行政の仕事をやったという既成事実を作ったら、自分のものであるという主張になる。」「その時連れて行ってください！」

それから十数年経って、去年 中山市長が政府に言ったんですよ。今 国有地になっているから一存で出来ない。政府は何と言ったか。「許可しません。」 これ、なんでですかねえ…。だからね、「中国が」「中国が」「中国が」じゃなくて、絡め取られている人たちがあまりにもたくさん内側にいるからではないか、と気が付くわけでございます。これが中国が大きくなった理由です。

さて中国は、バイデンになっても米中対立は避けられないと見ています。では、どのようにそれを回避するのか？ 回避しません。この米中対決・対立は習近平も譲りません。ここまで大上段に構えて「やっぱり、やめた」なんてことは絶対言えないですよ。

習近平は間もなく 10 年になるけど、10 年間で実績ないんです。彼は毛沢東のようになろうとしているんですが。毛沢東は中国大陸から国民党を追放したという実績がある。鄧小平はイギリスから香港を取り戻したという実績がある。しかし、習近平にはそのような実績が全くない。なので、彼がもし権力者として自分の地盤を固めようと思ったら、台湾統一しかないと思います。だけど、真正面からやったらアメリカも黙ってない。そんなバカな戦い方はしないと思うんです。

中国の戦略を見ると、何かで大きな問題が起こってしまったら、もう 1 つ別の問題を大きく作り出し、そちらの問題に世界中の目を引き付けて、それを丸く収めるというか、手を引くことによって、最初の問題の方を何となく受け入れさせていく、ということが多いですね。1 つ問題が起こったら、それを何とか解決するんじゃなくて、もっと大きな問題を別に作るんです。わざと。戦略的に問題を次々に生み出して、翻弄していくやり方ですね。

それを考えていくと、アメリカと中国が東シナ海・南シナ海を舞台にして正面衝突なんて、そんな不器用なバカなことを中国はしない。他にもう 1 つ、アメリカの力を分散させるようなトラブルを作り出すのではないかと私は見えています。それは何かというと中東です。

私がバイデン政権で 1 番気になるのは中東政策ですね。中東問題を考えた時…、具体的な話に行く前に、お手元の聖書の抜粋を見ていただくと、これは**旧約聖書のエゼキエル書**で、いつもこの場所で解説させていただいている箇所です。

聖書全体のメッセージを簡単にかいつまんで言うと、人類はある時代に向かって突き進んでいます。ある時代とは“終末時代”とか“患難時代”と言って、7 年間の人類史上最も苦しい時代です。この 7 年間の時代に、人類人口は恐らく 1/4 以下になるでしょう。3/4 が亡くなるでしょう。恐るべき時代がやって来るのですが、その時代の前に幾つかの前兆があります。突然それが起こるのではなく、その時代に突っ込む前に前兆があると言うんですね。

昔「セコムしてますか？」のセコムのホームページに『空き巣の前兆』というのがありました。空き巣狙いの犯人は行き当たりばったりで「ここ 金持ってそうや。は一いろ」とか、そんなんで入りません。何回も何回も下見してるんですね。何時頃 周りの人通りがないのか・飼犬や番犬がいるのか・何曜日が留守か・外出したら何時間くらいいないのか、色んなことを何度も下見して、成功確率の高い所に空き巣で入るそうです。片端から色んな町を巡りながら空き巣の下見をしていて、「ここは狙い目だ」とフォーカスした家に

は、表札の側面・ポストの側面・屋根・呼び鈴の下の方などに変わった模様を付ける。
そういう所に得体の知れない印を見つけたら、それはフォーカスされている可能性があるのでご注意
下さい。帰って早速ご覧になったらどうですか？ 「ウチは取られるもんはないわ。」
いや。それを見たら、空き巣の前兆だと思えと言うんですよ。
ヒドイことは突然起こるのではなく、見る人が見たら、ちゃんと前兆がある。

同じように、人類歴史が最も恐るべき時代に入る前に前兆がある。
その1つがエゼキエル戦争で、ロシアが幾つかの連合国を率いて、再建されたイスラエルに侵略戦争
をするのですが、これは患難時代（終末時代）の前に起こることなんですね。

本文を確認しておきましょう。

エゼキエル書 38 章

1. 次のような主のことばが私にあった。

私はエゼキエルという預言者で、今から 2600 年前の人です。

2. 「人の子よ。メシエクとトバルの大首長である、マゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言せよ。」

メシエクはモスクワの語源と言われています。トバルはシベリア地方の中心トボリスクの語源。

メシエク（モスクワ）とシベリア地方の両方を兼ね備えている大きな国。

彼らはどこにいるのか？ マゴグの地。黒海とカスピ海、この2つの海の間がマゴグの地です。

（*地図で）マゴグの上に“ロシア連邦”と書いてあるんです。

ゴグは人の名前ではなくタイトル。エジプトならファラオ。太閤や天皇とか、1つのタイトルですね。
ゴグという人物が現れるんじゃない。ロシアにおいて、非常に強権的な政治体制を確立している1人
の人物の下で戦争が始まる。

15. おまえは北の果てのおまえの国から、多くの国々の民とともに来る。

彼らはみな馬に乗る者で、大集団、大軍勢だ。

ゴグと言われている民族はみな馬に乗る。これは、先祖を辿ると騎馬民族の文化を継承してるんです。
ロシア軍は陸軍が非常に強い。陸軍の要はコサック民族でした。コサックは騎馬民族なんですよ。

コサックのロシア陸軍は、どこから馬の文化を学んだのか？ 元（げん）です。

ロシアの先祖たちはキプチャク・ハーンというモンゴル帝国に 250 年間支配されて、ロシアという国
は 250 年間 歴史から姿を消しました。そして、モンゴル民族の奴隷のようにこき使われたんです。
その時に馬の扱い方を学ぶんです。250 年の奴隷のような歴史から独立したのがイワン雷帝（1530-
1584）。彼は非常に凶暴だけど、ロシアの中では英雄です。

おまえは北の果てのおまえの国から。イスラエルの首都エルサレムから、北に向かって真っすぐ線を
引っ張ると、モスクワの上空を通過します。イスラエルから見て、真北にある北の果ての国はロシア。
だから、ゴグはロシアだと分かるのです。

ロシアが特に同盟を組んで率いて来る国のリストがあります。

5. ペルシアとクシュとプテも彼らとともにいて、みな盾を持ち、かぶとを着けている。

ペルシアはイラン。筆頭に出て来るんですね。ロシアはペルシアを率いてイスラエルに入ります。

6. ゴメルとそのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマとそのすべての軍隊、それに多くの国々の民がおまえとともにいる。

ベテ・トガルマはアナトリア半島。現在のトルコです。

“ロシアはイランとトルコを率いて、中東奥深くのイスラエルに攻め込んで来る”ということを 2600 年前に預言しているのですが、これが患難時代直前の国際情勢・世界の国家観関係を示唆しているように思うんですね。

今日は 2021 年 3 月 17 日です。6 日前の 3 月 11 日は、日本人なら誰も忘れることができません。ちょうど 10 年前、東日本大震災があったんですね。今でも本当に多くの傷を負っている方がたくさんおられて、私も 7 月にまたボランティアで行くことになっていますが、何かできることがあったらさせていただきたいと思っています。

ところで、あの震災が起こった時、地球の裏側で、もう 1 つの凄まじい事件が起こっていました。2011 年 3 月 15 日、シリアで内戦が始まったんです。

シリアは人口 2000 万。2011 年からの 10 年間で 40 万人が亡くなり（今もです）、600 万人が難民。1000 万人が家を追われてホームレスです。

いいですか。人口 2000 万のうち 1000 万がホームレスですよ。どうしてこんな事が起こったのか？

事の発端は、10 年前の 2011 年 2 月のアラブの春という民主化運動です。

初めチュニジアで起こりました。アラブ世界全部で 21 か国ありますが、全て独裁国家です。

これら独裁国家で民主化運動が始まり、まるで将棋倒しのように、色んな独裁者がパタパタと倒れていったんですね。そして、最も揺るがないと思われていたエジプトすらも、2 月 11 日にムバラク大統領の政権が崩壊しました。

アラブ中に次々と民主化デモが起こって、それがシリアに飛び火するのですが、この民主化運動はなぜ起こったと思いますか？

ある独裁者は 20 年。ある独裁者は 30 年。アサドは親子で 40 年以上独裁者。

国民が立ち向かっても絶対にかないっこない、ということをして 40 年以上刷り込まれているのに、この時だけはアラブ中の民衆が立ち上がって、「我々も人間として権利を認めてくれ！」と平和的なデモをしていったのです。逆らったらどんなに酷い目に遭うか、ということを知らされてきた独裁者たちに向かって、なぜこの時ばかりはアラブ中に民主化運動が起こったのか？

支援していた国があるのです。実はアメリカなんですよ。なぜ分かったか？

ヒラリー・クリントンのメールが表に出て来たんです。

独裁者に向かって自然発生的に反対デモをやったのではなく、実はアメリカの支援があった。

独裁者を倒すためにアメリカの協力を繰り返し出していく、というアイデアを出したのがブリンケン。

10 年前のアラブの春の陰の仕掛け人はアンソニー・ブリンケンなんです。

アラブの春の民主化運動によって、困ったことが起こりました。それは、独裁者が倒れた後、どんな勢力が力を持ったかということです。

エジプトではムスリム同胞団が非常に大きな力を持ちました。ムスリム同胞団は世界最大のイスラム主義政党です。長い間エジプト軍部の監視下に置かれていたのですが、大っぴらな活動ができなかったのですが、ムバラク軍事政権が倒れた後、一般民衆の支持を得て選挙で議席を取り、モルシ（1951-2019）という人物が大統領になりました。しかしモルシは、自分が大統領になると、イスラム主義の独裁体制を敷くようになったんです。ここに、民主主義の難しさがありますね。民主主義というのは、民主主義を否定する人物を指導者として選ぶことがあり得るんです。例えば、ヒトラーも選挙で選ばれているんですよ。

ムスリム同胞団の目的はちゃんと書いてある。全世界のイスラム革命です。イスラム革命で、全世界/地球人口全員をイスラームの支配下に置くために結成されている政治結社がムスリム同胞団です。そのためには、まずエジプトで政権を取って、エジプトをイスラム原理主義に基く国にしなければならない。それで、一般民衆の自由を次々に奪っていきました。民主主義で選ばれた団体と人物が、民主主義を否定する政治をやり出したのです。

2011年、イランには超タカ派の大統領がいました。アフマデネジャド。もう超タカ派。あろうことか、彼を公式にエジプトに招いたんですね。イランとエジプトは1979年以来 国交断絶なんです。1979年、エジプトはイスラエルを認めて和平を結びました。イスラエルを認めるような国は認めん！と、イランはエジプトをバンと切ったんですね。ところがムスリム同胞団がトップになると、イランは招きに応えた。それは何を意味するのか？

ムスリム同胞団の目的はイスラエル殲滅（せんめつ）です。ムスリム同胞団はスンニ派。イランはシーア派。スンニ派とシーア派はむちゃくちゃ仲悪い。それが、なぜここで手を結んだかということ、シーア派トップのホメイニがこう言ってるんですね。「でっかい敵を倒すためには、教派争いは一旦横において、手を結んだらいいんや。」「でっかい敵であるアメリカとイスラエルを倒すために、今は手をむすぼっ！」ということで、その招きに応じました。

そして、ムスリム同胞団のパレスチナ支部にハマスというテロ団体がありますが、イランはこのハマスに莫大な資金を援助し始めるんです。ハマスはスンニ派ですよ。だけど、ムスリム同胞団が話をつけて、イランがハマスにたくさんのテロ資金を送り込んだので、イスラエルでまたテロが始まるようになったんですね。

このような形で、イランとエジプトのイスラム革命が中東でどんどん進んで行くようになった時、エジプトの一般民衆が「こんな堅苦しいの、息苦しいの、いやや！」と、またクーデターを起こすんです。そして、モルシが倒れた時、“トンビが油揚げ”みたいに、軍が政権を横取りして行くんですね。それで、今は軍のシーシー大統領が独裁権力を握っています。

トランプ大統領はシーシーと組んだんです。トランプ大統領は「こいつは独裁者かも分からないけど、アメリカの国益を考えた場合、イスラムテロが吹き荒れるような政策はアメリカにとってマイナス。アメリカファーストじゃない。」だから、シーシーと手を結びました。このエジプトの政権を倒そうなんて思ってないですよ。

だけど、ブリンケンという人は「独裁体制は倒すべきだ。民主主義によって選ばれた政権が酷い政権

であったとしても、民意の反映が大事なことだ！」と言って、非常に理想主義的です。
もう一つ、ブリンケンがやったオバマ時代の中東政策があるんです。それはイラン核合意。
イランに対して、「10年間、核開発をできるだけ抑えてくれたら、経済制裁解除するから」言うて、
2015年に核合意をやった。

ところがトランプ大統領になって、「10年間だけ抑えて、11年目から開発したらナニしてんの？
それに、核開発の方は抑えると言っているけど、ミサイル開発の方は全然衰えないじゃないか。
穴だらけの政策や！こんなもん、アカン！」核合意から離脱した。
そして、イランに対してガンガンに押して行ったわけですよ。そのトランプが敗れた。
国務長官はブリンケンになった。

今バイデン政権が言っているのは「イランが核開発にもう1度取り組もうとしているのは、トランプ
が約束を破ったからだ。」核合意に戻ろうとしてるんです。
もし核合意に戻ったら、経済制裁が解除されるので、イランに資金が入って来る。
その資金はまたテロリストにばら撒かれていくし、何よりも、イスラエルは「黙っていない」と言っ
ています。今。

すみません。調子に乗って話しているうちに90分経ってしまいました。どうしよう。
あのね、急に話が飛ぶんですが赦してください。

で、シリアの話です。シリアのアサド政権は、民主化運動があった時、軍隊出して押し潰そうとした
んですが、軍隊から脱走者がたくさん出たんです。
彼らは自由シリア軍という軍隊を作って、アンチ・アサド、アンチ独裁ということで内乱が始まって、
10年でこうなったということなんです。

さて皆さん、この内乱が2020年12月、突如停戦になってるんです。今。
ロシアが仲介しても駄目。アメリカが仲介しても駄目。イランが入っても話ややこしくなるだけ。
ありとあらゆる手段を使っても、どうにも収まらなかった。あちらを収めれば、こちらは約束破る。
こちらを黙らせたなら、向こうがまた契約違反する。

どうにもならなかったのに、2020年になって停戦合意になった。なぜだと思いますか？
紛争に参加している全軍が、新型コロナウイルスにやられたからです。戦力無いんです。
疫病も時々良いことにもなる。両方ともバツバツ倒れていくから。

そして今、憲法の草案を作っているんです。こんなん、偽善的と言えば偽善的なんですけどね。
憲法草案を作って、内乱をやめて、新しいシリアとしてスタートしようよ！
憲法草案を作るための仲介者が3つあって、ロシア・イラン・トルコなんですよ。

先ほど、終末時代の中東における国際関係は、“ゴグと言われているロシア、ペルシアと言われている
イラン、ベテ・トガルマと言われているトルコが、1つのグループとなってイスラエルに入って来
る”と申し上げたのですが、今中東で起こりつつあるのは、伝染病も後押ししながら、このような
図式が動き出しているということです。

